

作成日 2025/10/01

改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	研磨ベルト ジルコニア 幅10mm 長さ330mm
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
推奨用途	工業用一般
SDS作成上の留意点	本SDSは、原料および加工で生じる粉塵等についての情報となります。
整理番号	M251008

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 区分4 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2B 皮膚感作性 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(肝臓 呼吸器) 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(胃 肝臓 骨 歯 神経系 腎臓 肺)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分3 水生環境有害性 長期(慢性) 区分3 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H320 眼刺激 H332 吸入すると有害 H335 呼吸器への刺激のおそれ H371 肝臓、呼吸器の障害のおそれ H372 長期にわたる、又は反復ばく露による胃、肝臓、骨、歯、神経系、腎臓、肺の障害 H412 長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き	
安全対策	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260) 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264) 取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264) この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)

環境への放出を避けること。(P273)

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P333+P313)

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)

施錠して保管すること。(P405)

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
酸化アルミニウム(研磨材)	10.0~20.0%	Al ₂ O ₃	(1)-23	既存	1344-28-1
酸化ジルコニウム(研磨材)	15.0~25.0%	ZrO ₂	(1)-563	既存	1314-23-4
フェノール樹脂(接着剤)	非公開	-	不明	不明	該当なし
炭酸カルシウム(充填材)	非公開	CaCO ₃	(1)-122	既存	471-34-1
氷晶石(六フッ化アルミン酸ナトリウム)(充填材)	5.0~10.0%	AlF ₆ Na ₃	(1)-14,(1)-332	既存	13775-53-6
綿・ポリエステル(基材)	非公開	-	不明	不明	該当なし

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

水でよく口の中を洗わせる。意識がある場合、水をコップ1-2杯飲ませた上で、指をのどに差し込んで吐き出させる。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

(吸入もしくは飲み込んだ場合の症状)
咳

(皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状)
眼刺激

応急措置をする者の保護

適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。
特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。
本製品は、無機物と有機物から成り無機物の研磨材、充填材は不燃性。
泡、二酸化炭素、粉末等の周辺の状況に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業従事者は全面形陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
粉じんが飛散しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(局所排気、全体換気)
排気/換気設備を設ける。

(注意事項)
眼に入らないようにする。
粉じんの堆積を防止する。
吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋を着用すること。
取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。
取扱中は飲食、喫煙してはならない。

接触回避

データなし

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗う。
休憩、終業時は手を洗う。

保管

安全な保管条件

梱包箱に入れ、直射日光、高温高湿を避け、換気の良い涼しいところで保管すること。

安全な容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
酸化アルミニウム(研磨材)	未設定	【粉塵許容濃度】(第1種粉塵) 吸入性粉塵 0.5mg/m ³ 総粉塵 2mg/m ³	設定あり
酸化ジルコニウム(研磨材)	未設定	未設定	設定あり
炭酸カルシウム(充填材)	未設定	未設定	未設定
氷晶石(六フッ化アルミン酸ナトリウム)(充填材)	未設定	未設定	設定あり

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値/天井値
酸化アルミニウム(研磨材)	未設定	未設定
酸化ジルコニウム(研磨材)	未設定	未設定
炭酸カルシウム(充填材)	未設定	未設定

氷晶石(六フッ化アルミン酸ナトリウム)(充填材)	未設定	未設定
--------------------------	-----	-----

許容濃度(ACGIH)参照先: <https://www.acgih.org/>

ばく露防止	設備対策	適切な換気のある場所を取扱う。
保護具	呼吸用保護具	換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
	手の保護具	保護手袋を着用する。
	眼の保護具	保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態		固体
形状		固体
色		青色
臭い		無臭
融点/凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
可燃性		点火性なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		適用外
動粘性率		適用外
溶解度		水に対する溶解度: 不溶 溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分係数		データなし
蒸気圧		適用外
密度及び/又は相対密度		データなし
相対ガス密度		適用外
粒子特性		適用外

10. 安定性及び反応性

反応性		データなし
化学的安定性		通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性		データなし
避けるべき条件		「第7章: 取り扱い及び保管」を参照すること。 粉じんの発生、拡散
混触危険物質		データなし
危険有害な分解生成物		データなし

11. 有害性情報

急性毒性	経口	急性毒性推定値が5000mg/kgのため区分5とした。 JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に該当しないに変更。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	経皮	データ不足のため分類できない。

	吸入	(気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) 急性毒性推定値が4.47mg/lのため区分4とした。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 眼区分2Bの成分合計が10%のため、区分2Bとした。
	皮膚腐食性／皮膚刺激性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性	眼区分2Bの成分合計が10%のため、区分2Bとした。
	呼吸器感受性	データ不足のため分類できない。
	皮膚感受性	区分1の成分が25%のため、区分1とした。
	生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
	発がん性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	生殖毒性	(生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(肝臓)の成分が10%のため、区分2(肝臓)とした。 区分2(呼吸器)の成分が10%のため、区分2(呼吸器)とした。 区分3(気道刺激性)の成分合計が20%のため、区分3(気道刺激性)とした。
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(肺)の成分が20%のため、区分1(肺)とした。 区分1(胃)の成分が10%のため、区分1(胃)とした。 区分1(肝臓)の成分が10%のため、区分1(肝臓)とした。 区分1(骨)の成分が10%のため、区分1(骨)とした。 区分1(歯)の成分が10%のため、区分1(歯)とした。 区分1(神経系)の成分が10%のため、区分1(神経系)とした。 区分1(腎臓)の成分が10%のため、区分1(腎臓)とした。
	誤えん有害性	区分1(肺)の成分が10%のため、区分1(肺)とした。 動粘性率が不明のため、分類できないとした。
12.	環境影響情報	
	水生環境有害性 短期(急性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が100%のため、区分3とした。
	水生環境有害性 長期(慢性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が100%のため、区分3とした。
	生態毒性	データなし
	残留性・分解性	データなし
	生体蓄積性	データなし
	土壌中の移動性	データなし
	オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。
13.	廃棄上の注意	
	化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	

廃棄物の処理方法		環境への放出を避けること。 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装		内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類	国連番号またはID番号	該当しない
	正式輸送名	該当しない
	分類または区分	該当しない
	容器等級	該当しない
ADR (欧州危険物国際道路輸送協定)	国連番号またはID番号	該当しない
	正式輸送名	該当しない
	分類または区分	該当しない
	容器等級	該当しない
ADN (危険物の内陸水路による国際輸送に関する欧州協定)	国連番号またはID番号	該当しない
	正式輸送名	該当しない
	分類または区分	該当しない
	容器等級	該当しない
RID (欧州危険物国際鉄道輸送規則)	国連番号またはID番号	該当しない
	正式輸送名	該当しない
	分類または区分	該当しない
	容器等級	該当しない
IMDG Code (国際海上危険物規程)	国連番号またはID番号	該当しない
	正式輸送名	該当しない
	分類または区分	該当しない
	容器等級	該当しない
IATA (航空危険物規則書)	国連番号またはID番号	該当しない
	正式輸送名	該当しない

分類または区分 該当しない

容器等級 該当しない

乱暴な取扱いを避ける。梱包容器が破損、水濡れ、異物混入、汚損及び破損しないような輸送方法を取る。

環境有害性 海洋汚染物質 (該当/非該当) 非該当

特別の安全対策 特別の安全対策データなし

国内規制がある場合の規制情報 船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号、第3号別表第9)

ジルコニウム化合物(令別表第9の番号:13)(20%-30%)(営業秘密)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)

ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム(安衛則別表第2の番号:1846)(1%-10%)(営業秘密)

皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・5該当物質の一覧)

酸化ジルコニウム

労働安全衛生法(表示・通知対象物質、がん原性物質)(令和8年施行分)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号、第3号別表第9)

ジルコニウム化合物(令別表第9の番号:13)(20%-30%)(営業秘密)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)

ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム(安衛則別表第2の番号:1846)(1%-10%)(営業秘密)

労働安全衛生法(表示・通知対象物質、がん原性物質)(令和9年施行分)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号、第3号別表第9)

ジルコニウム化合物(令別表第9の番号:13)(20%-30%)(営業秘密)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)

ヘキサフルオロアルミン酸三ナトリウム(安衛則別表第2の番号:1846)(1%-10%)(営業秘密)

毒物及び劇物取締法
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

非該当

非該当

消防法
水質汚濁防止法

非危険物

有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)

海洋汚染防止法 外国為替及び外国貿易法	指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3) 有害でない物質(施行令別表第1の2) 輸出貿易管理令別表第1の2項 輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出承認貨物・特定有害廃棄物等(法第48条第3項、輸出令第2条別表第2の35の2の項)
特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)	特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)
水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
じん肺法 土壌汚染対策法	法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業 特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)
16. その他の情報 参考文献	製造元メーカー提供資料 NITE GHS分類結果一覧 JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス 化学品ドキュメント管理プラットフォーム(CDPF) SDS作成システム「ChemValue.AUTHOR」により作成
その他	記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。あくまでも参考情報として提供するものであります。 また、注意事項は通常の実施を前提としたもので、特殊な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。この情報は、新しい情報を入手した場合、予告なしに改訂されることがあります。